



# interview Vol.4

東京土木施工管理技士会

## 優良技術者インタビュー

土木技術者の日頃の研究・研鑽を称え、技術者表彰規程に基づき、優良技術者の表彰を毎年行っています。今年度受賞された田口さんに工事のポイントや日々の業務について伺いました。



大豊建設株式会社  
**田口 高志**さん  
(R1荒川右岸東砂六丁目  
高潮堤防耐震工事 監理技術者)



受賞

## R1荒川右岸東砂六丁目高潮堤防耐震工事

大豊建設株式会社 田口 高志さん

### 主な工事内容

江東区東砂六丁目において高潮対策として荒川堤防の嵩上げ及び震災対策として堤防法尻に鋼製矢板を設置する工事

マンションなどの住宅、工場が近接し振動・騒音による影響が懸念される難工事において、地元警察や近隣住民と綿密なコミュニケーションをとり、細かな工事説明を行うことで、信頼を得て無事竣工に至った。また、コロナ禍という難しい環境での施工や狭隘な施工ヤードのなかで工程を滞りなく進行させ、雨量が少ない5月中に工事を無事に終えたことも高く評価された。



### 昔から憧れの職業…… というわけではなく、選んだ建設業界



皆さんいろいろな理由があってこの業界に飛び込んできていると思うのですが、私自身は「きっかけ」みたいなものは特にないんです。父が建設関係の仕事をしていましたが、小さな頃から絶対にこの仕事をしたいといった感じでもありませんでした。ある意味なんとなく選んだこの業界ですが、もともとモノづくりに興味があって体力にも自信があったので、今思えば天職だったかなと思っています。

厳しい工期のなかで事故なく安全に現場を進めることの大変さや重圧は他の工事とは少し違うかなと感じます。その他では外環自動車道の工事も担当したことがあるのですが、現場を管理する技術者だけでも130人ほどいる日本でも有数の大規模な現場ということもあり、しっかりと計画を立てることの大事さ、情報共有の大切さを学びました。また、大規模な現場だからこそ様々な人に出会えたことは非常にいい経験になりました。いろいろな現場で培われていった経験を次の現場、さらにその次の現場で活かしていくことですしずつ自信がついていきましたね。

### 経験を自信に次の現場へ 現場ごとの苦勞とやりがい



入社してからは基本的に明かり工事の現場に従事しています。なかでも造成工事と河川工事がメインですね。それぞれの現場で苦勞はありますが、特に河川工事では渇水期工事ということもあり5月は繁忙となります。



### コロナ禍での近接工事 各所への細かな配慮を大切に



今回表彰いただいた工事は堤防をつくる河川工事です。昨今の激甚化する自然災害に対応するために荒川の堤防の嵩上げ、そして地震時の液状化を防止するための鋼矢板を打ち込む作業を行いました。堤防に関しては延長250mほどの工事でしたが、狭隘な現場のため作業スペースを確保することが大きな課題でした。そのため警察や地元住民の方にご説明して歩行者や自転車のみが通れるよう通行止めを行い、用地を確保できたことで工期の短縮を実現することができました。また、マンションや工場などが近接する現場だったので、低振動型の建機を使用したり工事の工程表に色を付けてわかりやすくして配布したりとご理解いただけるよう配慮を重ねました。施工していた時期がコロナ禍の初期と重なってしまったこともあり、周辺住民の方が通常より多くステイホームしていらっしゃることはプレッシャーも感じましたが、結果、大きな苦情等もなく工事を終えられたことは非常によかったです。



### チャレンジする精神を忘れずに 休日はサッカーで気分をリフレッシュ



学生時代からいろいろなスポーツをしてきたのですが、最近ではサッカーやフットサルで毎週汗を流しています。

サッカーは7年ほど前から始めたのですが、少しずつ進歩していくのを実感しています。土木の仕事と同じでチャレンジしてその「過程」を見ることができるのが好きなのかもしれません。

### インフラの未来を担う若手に期待 技術と経験を次の世代へ継承する



建設業界はどうしても「3K」のイメージが強いですが、それも今では時代にあわせて大きく変わりつつあります。この世界に30年以上いますが、昔との違いを日々実感しています。残業時間を競い合い、寝ないで仕事をしていた時代は終わりました。時代に合わせてアップデートしていくことは部下への指導方法にも表れていますね。私たちが得た経験や技術をしっかりと言葉にして伝えていきたい。そのためにICTなどの新しい技術も取り入れて、自分自身もアップデートしながらこれからも頑張っていければと思っています。最近では建設業界への入職者の減少も叫ばれていますが、私自身やってみてこの仕事のやりがいや良さがわかったことも多いので、少しでもモノづくりに興味がある方はぜひいっしょに働けたらと思っています。

